

国語科授業案

日時 平成25年10月30日(水) 5校時

生徒 1年B組 男子13名 女子21名 計34名

授業者 太田 諭

授業場 1年B組教室

1 単元名 「お薦めの小説を、友人が読みたくなるような朗読会を開こう」

～中心教材「少年の日の思い出」～

2 単元について

(1) 教材観

21世紀は「知識基盤社会」といわれている。そのような社会を生きる生徒には、変化の激しい社会や日々更新される知識に対応可能な、「生きる力」を育成することが重要となる。したがって、生徒には「受け身」ではなく主体的に学習する意欲や態度が求められているといえる。

国語科においても、そうした意欲や態度を育成するために、「言語活動」を通して指導することが重要とされている。しかし、「読むこと」の領域（特に文学的文章）ではこれまで、教材内容を「深く読むこと」が重視されてきたといえるのではないだろうか。よって、「言語活動を通して」指導することに対して自身も含めなかなか踏み込めないでいる現状があるといえよう。

中心教材「少年の日の思い出」はまさに「深く読む」には最適ともいえる作品である。教師が生徒に読み取ってほしい描写が山のようにあり、時間をかけて考えさせたい教材である。また、第1場面が第2場面以降（客が回想を語る場面）の伏線となっているという構成についても、ぜひ気づかせたいものである。

しかし、今回は、従来行ってきた「場面ごとの読み」ではなく、言語活動を通して、「読みの深まり」や「内容の読み取り方のポイント」を実感・獲得させていきたい。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

以上のことを踏まえ、本単元では、単元を貫く言語活動として「自分のお薦めの小説を、友人が読みたくなるように朗読する」を設定する。

朗読は、「読み方を工夫して趣のあるように読むこと（広辞苑）」とあるように、内容についての深い理解の上で行うものであり、優れた朗読に至るためには、内容の深い理解が前提となる。そこで、朗読を、相手意識や課題意識を明確に持たせるための手だてとすると同時に、生徒の読書生活を広げることも意図している。

しかし、「自由な読み」を全て認めることは、「誤読」を招いたり、「表層的な読み」にとどまる危

険性がある。そこで、文章の一部を例として扱うことによって、良い朗読をするための「ポイント」を獲得させたい。その上で、個人に朗読したい場面を選択させ、選択した場面の「朗読の仕方」について考えさせる。また、その際にも、「独断的な読み」に陥らないよう、他班の同じ部分を担当した者同士による交流をさせたい。さらに、読みのキーポイントとなる課題を各場面に設定し、話し合わせた上で、朗読の工夫をさせたいと考える。

3 単元目標

「お薦めの小説を、友人が読みたくなるような朗読会を開く」という言語活動を通して、場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができるようにするとともに、本や文章などから朗読に適した場面を選択するための方法を身に付けることができるようにする。

中心となる指導事項ウ、カ

関連する言語活動 ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。

4 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解
<p>ア 朗読の工夫について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p> <p>イ 「少年の日の思い出」の中で自分が選択した場面や、お薦めの小説を、工夫して朗読しようとしている。</p>	<p>ア 文脈における語句の意味を的確にとらえている。</p> <p>イ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、文章の内容をとらえている。</p> <p>ウ 本や文章などから必要な情報（友人が読みたくなるための場面）を適切に集めている。</p>	<p>ア 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意している。</p>

5 単元計画（全7時間）

時	学 習 事 項	主な学習活動・手立て	評 価			
			関	読	言	
1	<p>○学習の見通しを持つ。</p> <p>○「少年の日の思い出」の展開をとらえ、朗読したい場面を選択する。</p>	<p>○単元を貫く言語活動を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○「少年の日の思い出」を通読し、展開をとらえる。</p> <p>○自分が朗読する場面を選択する。</p>	<p>○自分が友人にお薦めしたい小説を選ぶ。</p> <p>○友人にお薦めしたい本に</p>	ア	ア	ア
2	<p>○第2場面の朗読の仕方について、描写</p>	<p>○「告白の語り初め」について、朗読の仕方とその根拠を考え、交流する。</p>		ア	イ	

時	に基づいて考え、朗読する。 ○選択した場面について、朗読の仕方を考える。	○その後の部分での「変化するポイント」「変化の仕方」「その根拠」について考え、交流する。 ○読み取った事柄を生かして該当部分を朗読する。 ○選択した場面について、朗読の仕方を自分なりに工夫する。	について、友人が読みたくなる場面を選択する。			
3	○選択した場面の朗読の工夫について、同じ場面の担当者と交流しながら考える。	○自分が選択した場面について、同じ場面を担当する他班の仲間と交流しながら、朗読の仕方を工夫する。		ア	イ	ア
4	○同じ選択場面の生徒による相互朗読発表をする。 ○選択場面の代表者によって、回想全文の朗読を発表する。	○自分が選択した場面について、同じ場面を選択した生徒同士による朗読発表を行い、解釈の違いに気づく。 ○各場面で最も優れた発表をしたと判断された人による発表を行う。		イ	イ	
5	○「第1場面」の朗読の仕方について考え、話し合う。	○朗読の仕方について考え、話し合いことにより、「伏線」の存在に気づくようにする。		ア	イ	
6	○自分が友人にお勧めしたい本の1場面について、朗読の仕方を工夫する。	○自分が友人にお勧めしたい本について、選択した場面に至るまでの内容説明と、朗読する上での工夫を書く。 ○選択した場面の朗読練習をする。		イ	ウ	
7	○自分が友人にお勧めしたい本について、友人が読みたくなる場面を朗読する。	○朗読をしたり聞いたりすることによって、今後読みたい本について考え、読書活動につなげる意欲を持つ。		イ	ウ	

6 本時案（2 / 7 時間目）

(1) 本時の目標

「第2場面」について、朗読の仕方を考え交流することによって、場面の展開や人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てるとともに、よい朗読をするため内容の把握が重要であることを捉えることができる。

(2) 本時の展開

(○…発問、△…補助発問、□…指示・説明)

主な学習活動（下位目標）	教師の働きかけ・	手立て	【評価方法】・備考
--------------	----------	-----	-----------

<p>1 前時の振り返りを通して、単元のねらいと「少年の日の思い出」の展開を確認することができる。</p>	<p>○前の時間にはどのような学習をしましたか。また、「少年の日の思い出」はどんな話でしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート配付
<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「よい朗読をするためのポイントをとらえよう。」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・板書
<p>3 「少年時代の辛い記憶を語り出すことから、重く、ゆっくり、絞り出すように」などの、暗い導入に関わる朗読の工夫を記入するとともに、指摘することができる。</p>	<p>○客が語り始める場面の初めの2文は、どのように朗読するとよいでしょう。また、それはなぜでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を黒板に掲示 ・個人 【ワークシート】 ・机間指導 ・一斉
<p>4 「『ところが、』のあたりから当時のチョウに対する熱情を思い出していることから、語り口が熱く、速くなっていくべきだ」などの、少しずつ饒舌になっていくといった要素をもった朗読の工夫を指摘することができる。</p>	<p>○そのような語り出し方は、その後どのようになっていきますか。 △ずっと重たい語りのままだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉 【発言】 ・掲示物に指摘を記入する。
<p>5 2場面前半を、これまでの工夫を活かして朗読することができる。</p>	<p>□2場面前半について、これまでの工夫が表れるように朗読してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に指名し発表 【発表】
<p>6 「ぼくの両親は」「ある時」などの変化すると考えられるポイントを指摘することができる。</p>	<p>○この後の部分で、読み方に変化が必要となる箇所はどこだろう。下に曲線を描いてみよう。また、その根拠を書いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 【ワークシート】 ・机間指導
<p>7 「この少年にコムラサキを見せた」に、「認めてもらいたいという期待がある」という意見や、「認めてもらえなかった落胆が込められている」と指摘することができる。</p>	<p>○「この少年にコムラサキを見せた」は、どのように読むといいでしょう。また、それはなぜでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人 【ワークシート】 ・机間指導
<p>8 交流を通して、確認したポイントを意識しながら、朗読することができる。</p>	<p>□これまでに考えたことを朗読で表現しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に指名し、発表。【発表】
<p>9 朗読をするためには、人物の心情や展開を適切に読み取ることの必要性に気づき、まとめることができる。</p>	<p>○朗読するためには、どのようなことが大切だと言えますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 【ワークシート】